

## システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 24 年度	学位名	修士( 工学 )
専 攻	知能機能システム	専攻	著者氏名 井上 誠
指導教員氏名 望山 洋			
論文題目  球体 2 次元配列に基づく好触感デザインのための微細テクスチャ成形法			
論文概要 <p>本研究では、微粒子を用いて簡単に硬質面上に微細構造を構成できる球体 2 次元配列法を駆使して、さまざまな触感サンプルを作成し、好触感、特にすべすべ感を調査する。球体 2 次元配列法は、形状と触感の関係を調べるための触感サンプル作成手法である。この手法によって硬質面におけるなめらかな微細テクスチャと好触感との関係を調べる事が可能となる。得られた主な知見は以下の 3 つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作成したサンプルを用いてロバスト性を検証するために行った官能評価実験により、硬質面においてヒトがもっともすべすべ感を感じるのは 20[<math>\mu</math>m]微粒子の球体 2 次元配列付近である。</li> <li>2. 一様サンプルではすべすべにならない微粒子の混合ですべすべ感が得られる。</li> <li>3. 可撓面に対しては、すべすべ感は継承されない。</li> </ol> <p>これらの知見はヒトの触知覚メカニズムと好触感デザインを考える上で重要と考えられる。</p>			
審査日 平成 25 年 1 月 30 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 准教授	博士(情報科学)	望山 洋
副査	筑波大学 准教授	博士(工学)	相山 康道
副査	筑波大学 准教授	博士(情報科学)	星野 准一